

事務事業評価における総括

部 局 名	選挙管理委員会事務局	記入責任者	中山 早恵子
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>業務計画に位置付けられた重点事業である「市議会議員選挙の管理執行」、「県議会議員及び県知事選挙の管理執行」、並びに「参議院議員通常選挙の管理執行」は、関係機関等の協力を得て、予定通り適正に管理執行することができました。</p> <p>政策的事業は、2事業のうち1事業で指標を達成し、S評価としている外、他の事業については、利便性の高い施設を投票所に変更し投票環境の整備をしたことや、期日前投票所従事者の増員により円滑な期日前事務が執行でき、おおむね順調に進捗したことで成果があり、A評価としました。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>常時啓発事業は、指標を上回りましたが、市議会議員選挙、県議会議員及び県知事選挙、並びに参議院議員通常選挙の投票率向上には結びつきませんでした。</p> <p>この原因としては、報道等によれば、国政・地方選挙が続いたことによる地方議員や有権者の「選挙疲れ」などが影響し、全国的に国政・地方を問わず、投票率が低下している状況になったこと。特に茅ヶ崎市の市議会議員選挙においては、市長選挙がない単独選挙であったため、テレビ、ラジオ、新聞といった報道媒体による選挙報道が少なかったこと。若年層の投票率が依然として低迷していること等が挙げられます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>投票率は低下の傾向にありますが、主権者教育の一環である中学校、高等学校での出前授業、選挙啓発標語の募集など若年層を対象とした常時啓発事業を実施するなど、今後も国や県とも連携しながら、投票率の向上に向けた取り組みを継続していきます。</p> <p>また、コロナ禍における選挙については、国の対策等に注視しつつ、感染拡大防止対策をしっかりと講じながら、適正かつ円滑な選挙の執行に向けて取り組んでまいります。</p>			